

それぞれの課題を持って

15日は救命救急法講習会に続いての校内研修でした。慌ただしくしましたが、てきぱきと動いてくださり研究の話ができました。ご協力ありがとうございました。

今回の校内研修では、授業研究部より昨年度までの実践について話がありました。

メモしていた主な話題

生活科について

- ・授業だけで完結せず、水やりなどの時間外でも気付きがある。その時間外の気付きを思考ツールの掲示物や付箋を活用し、常に気付きを共有できる環境の工夫しながら気付きの質を高めていたこと。
- ・季節ごとの単元で何度も探究のサイクルを回すことで気付きの質を高めていたこと。
- ・単元内自由進度で個別最適な形を作りつつ、最後におもちゃランドや発表会で協働の場も意識的に作っていたこと。

総合的な学習の時間について

- ・3年は町たんけん、4年は久美浜湾、5年はお米作り、6年は京都の遺産やジオパーク、といったように地域をテーマに体験活動を取り入れていたこと。
- ・思考ツールを活用して、整理分析を行っていたこと。
- ・地域の人や他県の児童と交流する場を作り、コミュニケーション能力を向上させ、まとめの発表したこと。
- ・探究のサイクルを何度も回しながら、探究的な学びを進めていたこと。

今年度来られた先生にも分かるように、具体例を挙げながら話してもらいました。とはいえ詳しいことはやってみないとわからないことも多いと思います。来られた先生は昨年度の実践を知っておられる先生から話を聞きながら、昨年からのものは探究的な学びの中で「ここに！」とそれぞれが課題を持って、今年度の研究を進めていきましょう！

指導案の提案もありました。**7月中に1・2年生の指導案の完成を目指します。**

生活科学

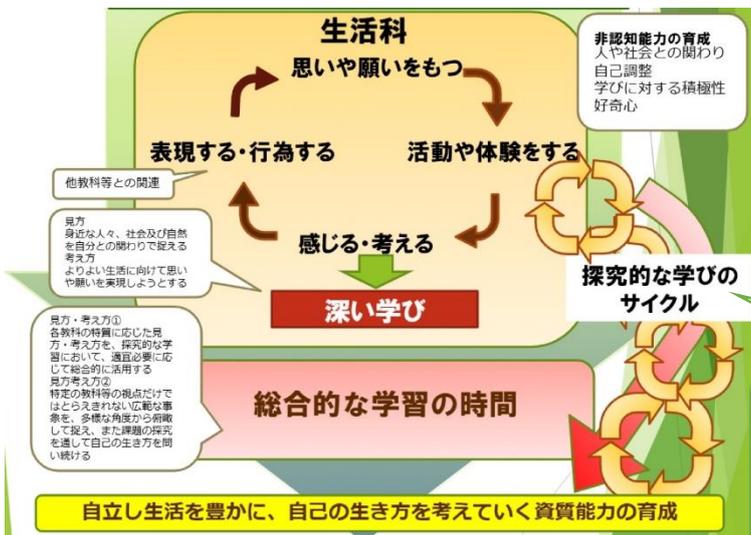
- 対象 第 学年 男子名、女子名、計名
- 日時 令和年月 日 0 期 期時 ~
- 種別 年 級 組
- 単元名 「」
- 単元について
 - ・学習指導要領の内容
 - ・単元の目的 (簡単なねらい)
 - ・単元の計画や構成 (付きたい力や気付きの質を高められる授業展開の工夫について) (1)と(2)
- 研究主題とのかわり

研究主題 「生き生きと表現し、主体的に学習する子どもを育成する生活科の創造」
～活動や体験から生まれる思い・願いを深い学びへ～

 - ・児童の実態 (生活科に関わって、保育所や子ども園で今まで経験したことを入れる) (3)
 - ・本単元での指導内容で授業のどういった変更をおこなうのか
 - ・どのような活動や体験を計画し、どのような思いや願いを持たせるか (2)
 - ・誰と関わり合い、伝え合いをし、表現力の育成を図るか (3)

【他教科とのかわり】

生活科	科	科	幼児期に育ってほしい10の姿とめつながり
(本単元)			



全学年で探究的な学びのサイクルを進めていくことを再確認しましたが、どのように進めていくかが重要ですね。日々の授業での実践や悩みを話題にしていきたいでしょう。